



元気いっぱい！ 荊っポー



3月

No. 220 令和6年3月15日

夢と希望に向かって
努力する子ども

友達と仲良く
助け合う子ども

約束や決まりを守り
あいさつする子ども

111名の6年生が巣立っていきました！

本日、令和6年3月15日、111名の6年生が荊田小学校を巣立っていきました。

この日から荊田小学校が111名の「母校」となりました。同じ母をもつ、何と14000人以上の卒業生の仲間入りとなったわけです。

そんな、すてきな荊田小学校という「母」から生まれ出た1人としてそれぞれがこれからの人生をたくましく切り拓き、豊かに生きていくことを願います。

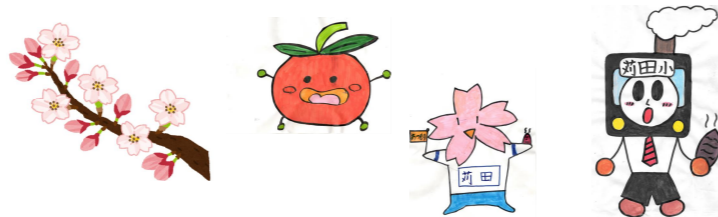
教職員、在校生、保護者の方々、来賓に見守られ、素晴らしい門出の卒業証書授与式となりました。

6年生と在校生、教職員、そして保護者の方々や来賓で創りあげた式は、さまざまな意味において忘れることのできない式になったのではと感じています。

心を込めて準備し、精一杯支えた在校生と教職員。その思いにしっかり応え、立派な姿を見せてくれた6年生。そしてそれを温かく見守る、保護者の方々や来賓…。この日この時、学校の頂点としてそれぞれが見事に輝いていました。そして、その輝きは確実に次の世代に引き継がれていくはずです。

最後のメッセージ！

卒業式、それは、子どもたちが新たな一步を踏み出す記念すべき日です。校長による式辞は、この大切な日に、卒業生たちへの最後のメッセージとして重要な役割を果たすと私は考えています。それは単なるお祝いの言葉に留まらず、これまでの学びや成長をふり返り、未来への励ましやアドバイスを込めたものであり、さらに子どもたちにとって忘れがたい瞬間とならなければと思います。今年も一生懸命考えました。その想いが届くことを信じて…。



令和5年度 卒業証書授与式 式辞

希望と喜びに溢れる今日、荊田小学校の卒業式を迎えました。皆様のご出席をいただき、誠にありがとうございます。本日、令和5年度卒業証書授与式が挙行されます。保護者の皆様、ご来賓の皆様、ご臨席の皆様、ご卒業のお祝い、数々の思い出を振り返り、心よりお礼申し上げます。一人一人の個性を伸ばし、たくましく生きていくことを願っています。

皆様は、この1年間、最上級生としての自覚をもち、荊田小学校のよきリーダーとして、本当によく頑張ってくれました。1年生のお世話から始まり、春季運動会では、素晴らしい演技を披露し、係も立派に運動会を支えてくれました。その他にも、よい学校生活を送るようにと、みんなのために働いた委員会活動、在校生を圧倒したかんだっ子集会での長なわ跳びなど、いろいろな場面で活躍が光った一年間でした。「6年生はすごい」「6年生になったら」「6年生みたいに」と、下級生があこがれ、目標としていたことを忘れてください。

そのような中、がんばってきた、皆さんの門出をお祝いし私からの餞として、一つの詩を送ります。

現在、絵本作家として活躍する小泉吉宏さんが作った、とても有名な『一秒の言葉』という詩です。道徳の教科書にも取り上げられたこともあり、人が様々な心や思いを込めていることが感じられる作品です。皆様にお配りしている卒業式のしおりに載せていますので、後ほど、ゆっくり見てください。こんな詩です。

「はじめまして」 この一秒ほどの短い言葉に一生のときめきを感じることもある。
「ありがとう」 この一秒ほどの短い言葉に人のやさしさを知ることがある。
「がんばって」 この一秒ほどの短い言葉で勇気がよみがえってくることもある。
「おめでとう」 この一秒ほどの短い言葉で幸せにあふれることもある。
「ごめんなさい」 この一秒ほどの短い言葉に人の弱さを見ることがある。
「さようなら」 この一秒ほどの短い言葉が一生の別れになるときがある。
一秒に喜び 一秒に泣く 一生懸命 一秒

6年前の入学式、「はじめまして」で始まった皆さんの小学校生活。それからの6年間、友達の「ありがとう」「がんばって」「おめでとう」の言葉に、やさしさや勇気を与えてもらいました。本当に悪いなあと思ったときは、「ごめんなさい」の一言で仲直りをしました。本当の友達とは、こういった心のこもった素直な言葉でつながっていくのではないのでしょうか？そして今日、「さようなら」という言葉とともに、荊田小学校を卒業していきます。この「さようなら」の言葉に皆さんは寂しさや悲しさではなく、素晴らしい友達や、かけがえない人たちとの出会いに感謝する気持ちと、未来への決意を込めてほしいと思います。これからたくさんの友達や先生、先輩と出会います。皆さんの未来はまだまだ続きます。誰に対しても、「心のこもった一秒の言葉」を忘れず、本当の友達を見つけてそれぞれの学校で楽しい中学校生活を送ってください。

最後になりましたが、保護者の皆様に一言お祝いの言葉を申し上げます。本日はお子様のご卒業誠にありがとうございます。手塩に掛けてこられたお子様の晴れ姿を前に感慨もひとしおのことと思います。いよいよ4月から中学生です。むずかしい時期にさしかかりますが、常に温かく見守り、愛情深く接してあげてください。愛情を十分に受けた子どもたちは、自信をもって自分の道を切り開いていくことができると思います。お子様のご多幸を心から祈念しております。また、この6年間、本校にいただきましたご支援ご協力に厚くお礼申し上げます。

さあ、卒業生の皆さん、いよいよ巣立ち行くときです。「なりたい自分」が「なれる自分」になるよう、力強く第一步を踏み出してください。皆さんが荊田小学校の卒業生として、胸を張って元気よく歩いていくことを願い、お祝いの言葉といたします。

令和6年3月15日

荊田町立荊田小学校 校長 宮城 強